

MESSAGE

病院長のご挨拶

CONTENTS [目次]

・療養病棟に初めての外国人技能実習生を受け入れて

INFORMATION [インフォメーション]
改修工事のお知らせ



表紙 | インドネシア技能実習生 (左から) エミックさん / チャアヤさん / デウィさん

特集

SPECIAL ISSUE

療養病棟に初めての外国人技能実習生を受け入れて

INFORMATION

改修工事のお知らせ

当院では現在、MRI室造設、歯科診療室の移転などの改修工事が始まっております。2022年夏頃の完成予定です。昨年11月30日には「安全祈願祭」も執り行なわれました。来院の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。



休日当番医のお知らせ

1/9(日)は
休日当番医と
なっています。
詳細は新聞等で
ご確認ください。

バス停のご案内

当院へバスでお越しの方は、最寄りの「すずかけセントラル病院」または「田尻橋北」のバス停からが便利です。病院へは、歩行者用の出入り口をご利用ください。



バス時刻表

「小沢渡」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 柏原西		2 田尻橋北 ⇒ 柏原西	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時	[50]	6時	[50] [58]
7時		7時	[31] [46] [42]
8時	[26]	8時	[24] * [21]
9時	[08] *	9時	[06] * * [04] *
10時	[08] *	10時	[06] * * [05] *
11時	[08] *	11時	[06] * * [05] *
12時	[08] *	12時	[06] * * [05] *
13時	[08] *	13時	[06] * * [05] *
14時		14時	[05] * [05] *
15時		15時	[05] * [05] *
16時		16時	[05] * [47] [05] * [52]
17時		17時	[23] [53] [52]
18時		18時	[33] [34] [51]

「浜松駅」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 浜松駅		2 田尻橋北 ⇒ 浜松駅	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時		6時	[11] [56] [27]
7時		7時	[26] [46] [07] [39]
8時		8時	[09] [29] [19] [58]
9時		9時	[05] [53] [53]
10時	[46]	10時	[48] [46]
11時	[46]	11時	[48] [46]
12時	[46]	12時	[48] [46]
13時	[46]	13時	[48] [46]
14時	[46]	14時	[48] [46]
15時	[46]	15時	[48] [46]
16時		16時	[27] [56]
17時		17時	[03] [34]
18時		18時	[36] [34]

す：すずかけセントラル病院経由 水：浜松市総合水泳場行き
【】内は超低床ノンステップ「オムニバス」運行予定(車両整備等により「オムニバス」で運行できない場合があります。)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。みなさん、昨年よりは和やかなお正月を迎えることができたでしょうか。インフルエンザも流行ってくる時期です。まだまだ、マスク着用、手指消毒等、感染対策をして体調管理を心掛けて下さいね。





病院長 のご挨拶

MESSAGE

新年 明けましておめでとうございます。
 昨年10月まで猛威を振るっていたコロナ・デルタ変異株感染(第5波)も、やっと下火になり、一日の市内感染はゼロの日が続くようになりました。かつて、市内でも1000人以上が自宅での療養を余儀なくされていたことがウソのようです。これは、我が国のワクチン接種率が74%に達したことに加え、感染対策の効果の現れだと推察します。ワクチン接種先進国のアメリカやイギリスでは、ワクチン接種率が随分前に70%に達していますが、今でも一日2~3万人と、わが国とは比較にならない多くの感染者を出しています。これらの国では、マスクやワクチン接種に対する反対運動などもあり、国民の感染対策に対する意識の差が影響していると思われます。ワクチン接種と合わせて、一人ひとりの感染対策の意識がいかに大切であるかを示していると考えます。第6波に備え、当院でも当面の間、感染対策の継続を行いますので、皆様にはしばらくご不自由をお掛けすることになるかと思いますが、ご理解のほどをよろしくお願い致します。

次に、昨年新たに開設した二つの外来診療についてご紹介いたします。一つ目は『脊椎外科センター』です。近年、頸椎及び腰椎ヘルニアなどの手術は、腹部の手術と同じように、内視鏡手術が主流となっています。今までは、内視鏡を使った脊椎の手術を大井医師が行っていましたが、新たに北浜医師が加わることで脊椎外科センターとして脳神経外科より独立して診療することにいたしました。北浜医師は、脊椎内視鏡手術のパイオニアの一人として日本低侵襲・内視鏡脊髄神経外科学会の会長も努め活発な活動もしています。

もう一つの新しい診療科は『肝臓内科』です。担当は肝臓ウイルス感染症を専門とする小野医師です。肝炎だけでなく肝臓疾患一般を診療しますのでお悩みの患者さんはお問い合わせください。

当院もこの地に開院して10年目を迎えました。この間に診療の拡大や発展に伴い、小規模の改修工事を行ってきました。今年は保育室と歯科診療室の移転や、新規のMRI導入と透析室の拡大など、大がかりな工事を予定しています。時と場所を変えて工事が行なわれるため工事車両の往来や、工事に伴う音など、ご迷惑をお掛けすることもございますが、できる限りの配慮をしておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、新たに国産ワクチンや内服薬の利用も始まるようとしています。皆様と共に、今年こそは、コロナを制圧して本当に良い年となることを期待したいと思います。

特集

SPECIAL ISSUE

療養病棟に初めての外国人技能実習生を受け入れて



外国人技能実習制度について

当院の療養病棟では、二〇二二年より「外国人技能実習生」として、三名のインドネシア人を受け入れています。外国人技能実習制度とは、外国人が日本で技能や技術、知識などを身に付け、発展途上国である母国の経済発展に寄与できるようにサポートするのが目的であり、この制度は国際協力推進のための一環を担っています。技能実習生が日本に滞在できる期間は最長五年。その期間内に、技能実習計画に基づいて技能や知識などを習得していきます。

受け入れ体制の強化

実習生を受け入れるにあたり、受け入れ側である療養病棟のスタッフは指導者としての資格を得るため、介護福祉士及び看護師で五年以上の実務経験者を対象に「技能実習責任者」「技能実習指導員」「生活指導員」等、各指導員としての講習とテストを受け、指導者受講証明書を取得しました。指導者として、基礎的な内容から実務の詳細な指導までできるようにし、生活面においてもフォローしていく体制を病棟スタッフ一丸となり整えました。

受け入れ後の取り組み

来日当初は、患者さんや病棟スタッフにひらがなのネームプレートをつけるなど、名前を覚えてもらえるような工夫をしました。カリキュラムに沿って介護職としての知識や技術の取得と共に日本語も学び、来日から約年になる今では介護の技術も日本語も上達し、病棟スタッフの中にすっかり溶け込んでいます。病棟スタッフも実習生の手本になろうと積極的に業務を見直し、読み合わせをしながら教えるなどの工夫をしたり、普段の生活上の言葉遣いにも気を配り、日本語の上達に繋がるように意識して接しています。

また、実習生はインドネシアの看護師資格を持っているため、ケアに対するレベルも高く、患者さんからの信頼も日に日に増しています。

お互いに成長できる仲間として

二〇二二年〇月に「介護技能実習評価試験」が行われ、見事に全員が合格でき実習の継続が決められました。また同年四月、実習生を対象とした「日本と母国との違いで学んだこと」をテーマにした作文コンクールがあり、実習生三名(デウィさん「働く母親の制度」エミックさん「日本のごみの出し方」チャアヤさん「日本の生活習慣」)が応募。それぞれが素晴らしい内容であり、漢字も交え丁寧に書かれていました。

その中でデウィさんの作文が全国三三名の応募者の中から最優秀賞に選ばれ、十一月二日にWBCでの授賞式が行われました。この受賞は、当院スタッフにとっても大変嬉しい受賞となりました。

実習生を受け入れたことで病棟スタッフが得たものも多く、今後も風習や文化の違いはあっても国境を越えた信頼関係を築きながら、お互いに成長できるような環境を作っていきたいと考えています。



Q&A 実習生への インタビューをご紹介します



▲病棟スタッフと一緒にパチリ!

来日前に不安だったことは?

- ◆ スタッフや患者さんとコミュニケーションが上手くとれるか心配だった
- ◆ 漢字が読めるか不安だった
- ◆ 一月からの実習で、インドネシアには冬がないため、ただだけ寒いのか心配だった

来日してから困ったことは?

- ◆ 患者さんの名前を覚えたり、日本での仕事の方法を覚えるのが難しかった
- ◆ 患者さんから言われた言葉がわからない時があった
- ◆ ゴミの分別が初めてで戸惑った(インドネシアではゴミの分別はしていない)
- ◆ バスや電車の乗り方がわからなかった(インドネシアでは、交通手段はバイクが中心)
- ◆ 美容院の予約の仕方がわからない

病棟スタッフが対応してくれて良かったことは?

- ◆ スタッフが全員ひらがなのネームプレートを付けてくれたこと
- ◆ スタッフ全員の顔写真と名前が書かれた用紙が用意されていたこと
- ◆ 仕事でも勉強の時間を確保してくれること
- ◆ 仕事の説明で一緒に読み合わせをしてくれること
- ◆ ありがたなをふって病棟のいろいろなところに貼り、わかりやすくしてくれていたこと
- ◆ 生活面でも心配しているいろいろなサポートをしてくれること

言葉や文化、生活環境の違いから困ったことや不安に思うこともたくさんあったようです。今後は日本での良い学びができるよう、サポートしていきます。

筆者

すずかけセントラル病院
療養病棟課長
工藤 博子